

NST

李 相雄¹⁾²⁾、荒木 里美¹⁾³⁾、金網 規夫^{1) 4)}、田中 亮¹⁾²⁾、中野 旬之¹⁾⁵⁾、
根尾 昌志¹⁾⁶⁾、佐浦 隆一¹⁾⁷⁾

大阪医科大学附属病院栄養サポート・チーム¹⁾、同一般・消化器・小児外科²⁾、同栄養部³⁾、
糖尿病代謝・内分泌内科⁴⁾、同歯科口腔外科⁵⁾、同整形外科⁶⁾、同リハビリテーション科⁷⁾

栄養サポート・チーム (Nutrition Support Team: NST) とは、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士、歯科衛生士など医療に携わる多職種が横断的に連携しながら、それぞれの専門的な知識・技術を活かして個々の患者さんに適切な栄養療法を提案し、疾患の治療を栄養面から支援 (サポート) することを目的に活動する医療チームのことです。

今日、健康の維持だけではなく、さまざまな疾患の治療において栄養管理の重要性が明らかになっています。そして2006年度には「栄養管理加算」が、2010年度には「栄養サポート・チーム加算」が診療報酬点数表に収載されるなど医療行政の後押しもあり、医療の基本として栄養管理・栄養療法が定着してきました。とくに超高齢社会を迎えて膨らみ続ける社会保障給付費 (2018年度予算ベース総額121.3兆円：年金56.7兆円、医療39.2兆円、福祉その他25.3兆円) を少しでも抑えるために、入院期間の短縮と早期の社会復帰は喫緊の課題とされています。例えば、消化器外科領域では、従来の開腹・開胸手術や拡大手術に比べて、鏡視下手術などの低侵襲治療や縮小手術の優位性が示され、加えて、疾病予後と栄養状態が深く関連していることも明らかになってきました。つまり、内科疾患だけでなく外科領域でも、入院患者の栄養管理は包括的医療の一翼を担っており、医療の質を担

保するためには必須なものであると認識されるようになりました。

NSTの具体的な活動は、毎週火曜日と木曜日に約7名のメンバーで当該病棟の回診を行っています。NST回診の対象となる患者さんは病棟看護師との栄養カンファレンスにて、①血清アルブミン値 3g/dl以下、②食事摂取量 3割以下、③誤嚥性肺炎 (疑いを含む)、④褥瘡、の基本スクリーニング項目により抽出されます。そして、回診時には主科担当医師・病棟看護師も交えて、対象患者さんの治療経過と問題点、そして栄養評価と栄養面での問題点を明らかにし、できるだけ具体的な点滴や栄養剤のメニュー、食事形態などを実臨床に即して提案できるように努めています。なお、1日の回診 (平均2時間) での介入実数は平均9.7名という状況です。

一方、NSTは院内での実臨床だけでなく、院内向けの啓発活動として「NSTニュース」を定期発行し、当院で働く医療者に日々の臨床で役立つ栄養管理や栄養療法に関するミニ知識も提供しています (図1)。また、対外的には日本静脈経腸栄養学会「NST稼働施設」、「認定教育施設」、そして日本病態栄養学会「病態栄養専門医研修認定施設」の認定を受けています。具体的には毎年、外部施設からNST専門療法士研修を受け入れや市民公開講座といった北摂・島本地域 (三島圏域) の啓発活動への参加な

ど、基幹病院としての役割を果たしています。

さらに、大阪医科大学での医学卒前教育では、グローバルスタンダードに対応した臨床参加型実習（クリニカルクラークシップ）の実施に際して、臨床栄養学カリキュラムの一環としてNST回診への医学生の参加が必須となりました。

このように、世界に類をみない超高齢社会を迎えた現在、診療科別・臓器別医療を経糸に、そ

してNSTに代表される多職種による横断的アプローチを緯糸にして織り出される包括的チーム医療には、社会保障給付費の適正化に直結する健康寿命の延伸に資するための疾病の予防と治療、そして早期の社会復帰と介護予防をサポートする基本的医療としての役割が期待されています。



NST News

- Nutrition Support Team -

大阪医科大学附属病院 栄養サポートチーム
第57号 2019年2月1日

オーラルフレイルって 知っていますか？

食べることは、健康の始まりです。近年、“フレイル”や“オーラルフレイル”という概念が注目されています。“オーラルフレイル”は、身体の衰え（フレイル）の一つです。“オーラルフレイル”とは、健康と機能障害との中間にあり、可逆的であることが大きな特徴の一つです。つまり早めに気づき適切な対応をすることでより健康に近づきます。

オーラルフレイルに早めに気がつくために、下記のような検査があります。

1. 口腔衛生状態
2. 唾液量
3. 咬合力（圧）
4. 舌圧
5. 咀嚼能率
6. 嚥下スクリーニング検査



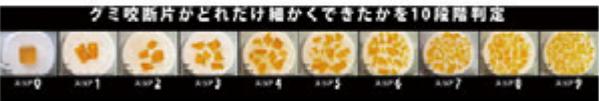


咬合力測定器



舌圧測定器

クミ咬断片かどれたけ細かくできたかを10段階判定



咀嚼能率の検査



口腔機能を低下させないことが
経口摂取への近道です。

担当：歯科口腔外科